

# KAWASAKI KYODO HOSPITAL

神奈川民医連系列研修病院

汐田総合病院



▶別冊パンフレットを  
ご参照ください。

戸塚病院



▶本パンフレット P.09 を  
ご参照ください。

お問い合わせ・お申し込みはこちら



神奈川県民主医療機関連合会

TEL: 045-320-6371 FAX: 045-320-6374

E-mail: igakusei@kanamin.or.jp

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 3-35-1 第二米林ビル5F

詳細は神奈川民医連ホームページへ

<http://kanamin.or.jp/>

神奈川民医連

検索



KAWASAKI KYODO HOSPITAL | Training Guide Book



# KAWASAKI KYODO HOSPITAL

## Training Guide Book

川崎協同病院  
研修ガイドブック



in Kawasaki



# KAWASAKI KYODO HOSPITAL

「病気」ではなく、「人」を診る医療人を育てます

私たちの医療機関では、地域住民の立場に立って、親切でかかりやすい病院を目指しています。「病気」だけを診るのではなく、「人」を診る視点も育てることを研修の重点に据えています。悪化する社会情勢の中で、経済的に困難な方が増え、病気をもちながらも病院にかかる人が増えています。病気の裏にある今日のこうした社会背景にも目を向けるような医師づくりを私たちは目指しています。

私たち神奈川民医連の医療機関では、病院、診療所、訪問看護ステーション、在宅介護支援センター、老健施設等を備えるとともに、訪問診療にも力を入れており、地域の第一線医療機関だからこそ、幅広い見識をもち総合的診療能力をもつ医師づくりを目標にしているのです。また、初期研修に診療所研修も取り入れ、外来研修や訪問診療など地域医療の実践の経験もできるようにしていますが、そこには幅広い研修フィールドがあります。

現行の初期研修カリキュラムでは、その中に科学的診療能力を高める課題、協調性・倫理性をもちチーム医療の中でリーダーシップを果たして行く課題が含まれています。また、研修医の意見がフィードバックできる研修管理委員会もあり、毎月定期的に開催されています。また川崎協同病院では、2015年12月に研修第三者評価も更新していますが、サーベイナーからも高い評価を受けております。

また2017年度より開始される新専門医制度に備えての準備も進めております。  
プライマリ・ケア医療に関心の高い医学生の皆さん、私たちの病院と一緒に研修を始めてみませんか？

## 川崎協同病院 病院概要

川崎協同病院は地域の患者さん達の期待に応えて1976年に川崎市川崎区桜本の地を開設しました。1994年には、267床の総合的機能を持つ医療機関として、リニューアルオープンしました。現在は、川崎医療生活協同組合のセンター病院として、厚生労働省の認可を受け、初期臨床研修病院としての役割を担っています。

### 診療科目

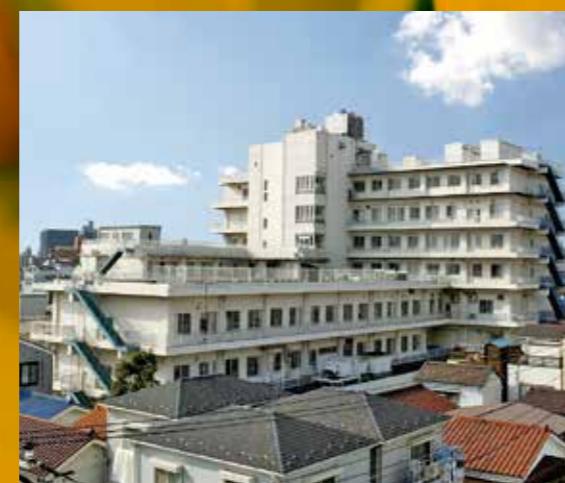
内科・外科・小児科・産婦人科・整形外科・眼科・耳鼻咽喉科・泌尿器科・皮膚科・リハビリテーション科・精神科・麻酔科・神経内科・放射線科・消化器科・呼吸器科・循環器科

### 病床数

許可病床数：267床 一般病床：175床  
回復期リハビリテーション病床：92床

### 職員構成

医師 41人、薬剤師 8人、看護師 126人、助産師 10人、准看護師 18人、介護福祉士 17人、看護助手 4人、ケアワーカー・ヘルパー 9人、理学療法士 33人、作業療法士 25人、言語聴覚士 3人、視能訓練士 1人、臨床工学技士 9人、放射線技師 11人、臨床検査技師 17人、管理栄養士 5人、調理師 2人、MSW・PSW 8人、事務 38人(2015年9月時点)



### 施設概要

#### 【病院認定・関連施設】

厚生労働省指定基幹型臨床研修病院、日本内科学会認定医制度教育病院、日本小児科学会専門医研修施設、日本外科学会専門医制度修練施設（関連施設）、日本整形外科学会専門医研修施設、日本麻酔科学会認定病院、日本プライマリ・ケア連合学会認定後期研修プログラム施設、日本循環器学会指定循環器研修関連施設、日本消化器病学会関連施設



Concept

医療の中心は患者さん…、研修の中心は研修医…

—地域医療、プライマリ・ケア、チーム医療の本質をトコトン身につけ、  
病院・地域みんなで研修医を見守る都市型地域医療の中小規模臨床研修病院—

## 研修理念

Philosophy

- 医師としての社会的責任と使命を自覚し、生涯にわたり自己を向上させる態度を身につける
- 専門性のみではなく総合的な臨床能力をもち、初期治療・救急治療から在宅医療・終末期ケアおよび予防医学・健康管理まで幅広い医療に関われる。
- 疾病を医学的に正しくとらえるのみでなく、患者を心理的・社会的側面を含め全人的にとらえることができる。  
また対等な信頼関係に立脚した医師・患者関係を築き共同作業としての医療を実践することができる。
- 学術活動を通じて自らの医療活動を評価し、新しい医学の成果に学び、医療内容の充実と向上に努める。
- 後継者を育成するとともに、チーム医療を理解し関連職種と良好な連携の中で、医療の責任者としての指導と援助を行える。
- 広く社会の問題に目を向け、国民の人権や医療を守る運動に取り組める。

## プログラム責任者メッセージ

Message

### 初期研修医に身につけて欲しい4つのチカラ

#### 1 プライマリ・ヘルス・ケア

地域の人々が健康に生活できるようにサポートする能力です。手技や知識に偏ることなく、患者さんの生活背景や労働環境にも目を向け、個別性を尊重した問題解決能力を身につけることが大切です。

#### 2 自ら進んで学び続ける力

医師は一生指導医から知識を与えられるわけではありません。ヒナ鳥のようにspoon feedingされるのは最初だけ。自発的に学び、向上し続ける力がないと巣立ちができません。必要な文献を検索する方法や、適切にコンサルトする方法など、自らが常に up-to-date し続ける能力を身につけることはとても大切です。

#### 3 コミュニケーション能力

患者・家族とのコミュニケーションも大切ですが、スタッフとのコミュニケーションも、チームの機能を最大限に引き出すために不可欠です。日々発生する問題でも、患者・家族や多職種と一緒に共有し、生じた問題に応じて職種間の力関係を変え取り組みます。信頼されるチームリーダーに必要とされるのは、実は謙虚さです。



外科部長  
初期研修プログラム責任者  
横浜市立大学 1992年卒

和田 浩史

#### 4 主治医責任を持ち続ける力

地域の医療者には、個別の専門性とは別に、1人の人間に総合的にかかわり続ける力が必要です。例えば、終末期などで提供できる根治的治療がなくなったとしても、看護師や牧師や家族や友人の役割を担いながら、最期まで寄り添い続ける能力が求められます。

研修医も医師であり科学者ですが、その前に新米の社会人で、1人の迷える人間です。どんなに高度な evidenceに基づく医療行為も、患者さんが納得して協力してくれなければ正しい医療とは言えません。

科学的視点とヒューマニズムの調和は、僕の研修指導の根幹をなすものです。研修医が成長し、日々の診療でみごとなバランス感覚を見せてくれるとき、僕は心の底からうれしく思いますし、これこそ指導医冥利に尽きる瞬間です。研修のみずみずしい感性に刺激されて、僕たち指導医も日々成長していくのです。

## 川崎医療生協 NETWORK MAP

Network

充実した OFFTIME !  
都心と横浜のど真ん中 !!  
羽田へもすぐ。

川崎駅 ⇔ 東京駅 17分  
川崎駅 ⇔ 横浜駅 7分  
京急川崎駅 ⇔ 羽田空港 14分



病院	1
診療所	7
歯科	1
訪問看護ステーション	3
ヘルパーステーション	4
介護老人保健施設	1
ケアプランセンター	3
地域包括支援センター	3
小規模多機能施設	1
大師診療所	
協同ふじさきクリニック	

Training Guide Book

# 初期研修プログラム

About Junior Residency

## 研修フィールドは“地域”そのもの

「地域に根ざした病院での研修」これが一番の特徴です。退院前家庭訪問、地域のヘルスプロモーション活動の講師、往診研修など、病院内にとどまらず地域に“出していく”ことを大切にしています。その中で地域課題や患者さんの生活背景に気づき、患者さんの疾患を生活と労働から捉えるSDH（健康の社会的決定要因）の視点を学びます。また南北に長い川崎市は南北の川崎区と北の麻生区で地域性が全く異なり、地域医療研修の際には、最北部のあさお診療所や最南部の大師診療所など、地域色豊かな診療所で、最前線の地域医療を学びます。訪問診療は、地域医療研修の時だけではなく、1年目の内科研修から経験します。



患者さんのお花見に同行



## 患者さんに起きている問題を中心にした本物のチーム医療

当院はチーム医療の実践を大切にしています。日々、病棟では多職種カンファレンスが行われ、医師とコメディカルが生活背景まで見据えて患者さんの状況を共有しています。また、当院では創設時から“医療は患者さんと医療者の共同のいとなみ”と考えてきました。患者さんに起きている問題を中心に抽出し、発生している問題に応じて、チーム内の力関係を変えながら、患者さんや家族と共に応する、本質的なチーム医療を実践しています。研修医はこのような環境で、自然と他職種をリスペクトし、権威勾配の緩やかなチームを築ける人格的医師に成長します。



6F 病棟カンファレンス

## 研修をつくるのは研修医

当院の研修は研修医が主体的に改善します。毎月の研修管理委員会で研修医自身が研修の改善提案を行います。研修医の意見は必ず現場や指導医に戻され、改善につなげています。また、研修医が自主的に運営する朝勉強会と研修医会があります。朝勉強会は週3回、研修医向けの当直教材を利用し、疾患を鑑別し、何の検査をするか上級医を交えて30分程度ディスカッションします。週1回の研修医会では、研修医自身がテーマ設定し、研修医が発表したり、指導医にレクチャーしてもらいます。これらは研修医の発案で始まり、現在も研修医が自主運営しています。研修医が必要だと思ったことを指導医や担当事務が受け止め、実現させていく研修文化があります。

## 患者さんのQOLのための医療・介護のスムーズな連携

超高齢化時代の日本では、医療介護の連携が不可欠です。近年、病院から在宅へのシフトが進み、この流れは2025年に向け、更に加速されます。そんな中、川崎協同病院はP2にあるように医療生協の医療介護ネットワークで患者さんの療養生活を切れ目なく支えます。退院前カンファレンスや退院前家屋調査等で、ケアマネージャーや訪問看護師、ヘルパーとの綿密な連携を通じて、患者さんの退院後の生活も見据えた診療を経験します。地域医療研修の際に介護職の業務を知ることで、医療介護の連携を自身の体験から修得します。2年間の研修で日常的に行われる介護との連携を通して、今後の医療に求められる地域包括ケアを実践する力を養います。

## | 初 | 期 | 研 | 修 | プ | 口 | グ | ラ | ム | 例 | Example Program

1年目												2年目											
4 Apr	5 May	6 Jun	7 Jul	8 Aug	9 Sep	10 Oct	11 Nov	12 Dec	1 Jan	2 Feb	3 Mar	4 Apr	5 May	6 Jun	7 Jul	8 Aug	9 Sep	10 Oct	11 Nov	12 Dec	1 Jan	2 Feb	3 Mar
導入期研修 (総合内科)	総合内科	小児科	外科	救急	内科選択 ①循環器 ②消化器 ③腎透析	産婦人科 (研修協力施設)	精神科 (研修協力施設)	地域医療	自由選択 ①整形外科 ②神経内科 ③脳神経外科 ④皮膚科 ⑤耳鼻咽喉科 ⑥泌尿器科 ⑦麻酔科 ⑧救命救急センター	※②③⑧は研修協力施設にて													

## 研修医が自分で考え、1段1段ステップアップする救急研修

「浴びるように救急症例を経験したい。」「三次救急で難しい症例を診たい。」よく医学生さんから聞く声です。当院の救急研修は、階段を一段ずつあがることを大切にします。当直は、見習い⇒副当直⇒独り立ちと、指導医の監修のもとで段階を踏みます。日中の救急も上級医とペアを組み、見学⇒ファーストタッチ⇒独り立ちとステップアップします。“浴びるような症例”ではなく、一人ひとりの患者さんの症状を問診⇒身体診察⇒鑑別⇒検査⇒診断と研修医自身が考えて導き出し、診療の型を身につけていくことを大切にしています。初期研修医にとって“Walk inで来た2次までの救急”が最も重要です。患者さんの「何かダルいな…」から、重篤な疾患を見逃さず適切な道案内をできる力を身につけることが大切です。紹介状を開け、既に書いてある診断病名の治療を上級医と共に進行することも勉強になりますが、当院では、情報がない状態から丁寧な問診と身体診察で研修医自身が診断をつける力量を身につけています。

## 病院内外で学ぶプライマリ・ヘルス・ケア

厚生労働省は、初期臨床研修の基本理念に、「臨床研修は、医師が、医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度・技能・知識）を身に付けることのできるものでなければならない。（医師法16条の2第1項）」と掲げています。プライマリ・ケアで重要なACCCCを学ぶ上で最適なフィールドは地域に根付いた中小規模病院です。当院の研修では近くにあって（Access to care）、疾患だけではなく生活背景含め全人的に（Comprehensive Care）、他職種や他施設と連携しながら（Coordination of Care）、患者さんの人生の調和を大切にして（Contextual Care）診続ける（Continuity of care）医療を日常的に行っています。また、日々Common diseaseを経験し、診断から治療まで一貫した診療を経験し、基本的診療能力を身につけています。さらには健診やヘルスプロモーション活動を通じて、病院内での診療にとどまらないプライマリ・ヘルス・ケアの実践を経験します。

## JCEP 臨床研修評価

### 第三者からの客観的な評価を重視

当院はJCEP（卒後臨床研修評価機構）のプログラム認定評価を受審しています。第三者から客観的な評価を受けることで、定期的に見直し・改善を行い、質の高い研修を保つことを目的としています。厚生労働省が定めた基準達成に加え、研修医が生き生きと研修しているかを書類審査と現地調査によって審査されます。2011年の初回受審時は4年認定の高評価（通常は2年）を受け、2015年には更新受審し、最高評価の6年認定を受けました。これは全国で5施設のみの認定です。「病院全体で研修医を育てる雰囲気がある」「初期研修は患者様を最初から最後まで診ることで、貴院のような病院で行うことが望ましい」など、当院の研修で大切にしていることや特徴点に、高い評価を頂きました。



## 多角的に研修医を見守り育てる研修

様々な角度から研修医を見守り、育てることが特徴です。研修管理委員会を毎月行い、指導医に加えコメディカルや地域住民も参加し、他職種や患者の声を研修医へフィードバックします。研修医を360度評価することで、指導医が見逃している研修医の隠れや不調をキャッチできます。研修では「川崎医療生協模擬患者の会」の医療面接を必ず経験します。実際のケースを基にSPさんが演じ、研修医の対応を、指導医と共に模擬患者の会のメンバーが“プロの患者”的眼からフィードバックします。メンタルケアにも配慮しています。プログラム責任者と三ヶ月に一回定期面談を行い、振り返りや不安、要望を聞き取ります。研修への不安を話す場を設け、悩みを抱えこまないようにしています。また、メンター制度を導入しています。アンケートで研修医が希望するメンターを複数指名し、組合せます。三ヶ月に一回の面談を行いますが、形式を決めず、外食しながら話を聞くなど本音を出し易くしています。研修医は「大丈夫」と思っていても、ストレスを抱えていることもあります。心身とも健康に研修を修了するため、これらは有効です。

# 後期研修プログラム

About Senior Residency



## 後期研修目標

- 主治医として求められる総合性を基に専門性を身につける
- 生涯を通じて学習・成長を目指す姿勢を身につける
- チーム医療におけるリーダーとしての資質を養っていく

## 研修の特徴

### 退院後も関わり続ける医療を経験

当院の後期研修では、継続性をもって外来・往診に関わります。そのため初診の急性期対応から慢性疾患管理まで幅広く経験することができます。また病棟で担当した患者さんの退院後のフォローも自身の外来で受け持ち、一人の患者さんに對して病棟から外来まで継続して関わることができますのでプライマリ・ケア能力の研鑽に適しています。往診は、患者さんの生活の場で医療を行います。検査機器が十分でない中での医療は、疾患だけではなく、生活背景や家庭環境まで含めて「人」そのものを診る力が養われます。患者さんの生活の場に入ることで、退院後の療養生活がイメージされ、病棟での治療計画にも役立ちます。



訪問診療の様子

### 後期研修医も放置せず

### 評価・見守りを徹底

2017年度から始まる新専門医制度では、後期研修管理委員会の設置が義務付けられています。当院では、2015年度に前倒しで委員会を設置しました。初期研修同様、後期研修医についても研修状況を共有し、プログラムやローテーション調整を行っています。後期研修医から出された意見や要望も検討し、研修に組み込むなど改善するシステムになっています。後期研修1年目は、担当医から主治医になるため、患者さんに対する責任が重くなり、肉体的精神的に負担が増す時期です。後期研修医だからと放任されることがないよう、成長を見守り支えていく役割を担います。



研修管理委員会

### 病棟を離れ社会的な課題も学ぶ

患者さんは、様々な社会的な背景から治療の枠には留まらない問題を抱えていることもあります。Bio-psychology-social modelで指摘されているように、医師として、患者さんの抱える医療課題について多角的に理解・アプローチすることが必要です。当院ではそうした問題について、医療現場から離れて他職種と合同で学ぶ機会を備えています。当院は、京浜工業地帯に立地し、減ったとはいえ大気汚染の公害は切り離せない問題です。公害について、歴史的・科学的な面、更に患者さんの生の声から学び、現場を訪れる研修を行っています。また、近隣にはコリアンタウンがあり、在日朝鮮人の歴史や、共生社会について考える研修、更に高齢化社会や認知症の問題、ホームレスの問題に関する研修など、社会と医療の課題に向き合います。

### 研修を楽しみ、切磋琢磨し、 支え合う若手医師グループ

川崎協同病院では、若手医師のエネルギーを統合し、活発な交流を通して病院を発展させていくことを目的とした、「若手医師の会」があります。定期的に交流の場を設け、業務や研修に関する意見交換や、学術活動に関わる情報共有などを行っています。それぞれの医師の思いや修得した知識を結集することで、病院を動かす力になっています。2015年度には、当院で勤務・研修をした医師で構成する「同門会」を立ち上げました。第1回の同門会総会では、運営部門を担うなど、若手医師が広く活躍しています。



第1回同門会総会集合写真

Target

- 医師としての社会における役割を自覚し、行動できる
- 後継者育成を通して自己の研鑽を行っていく

Characteristic

## ジェネラリスト養成プログラムかながわ

(川崎医療生協 家庭医療／総合診療複合プログラム)

### 1 外来を継続できる

研修ローテートで研修科が変わっても継続して外来診療枠を継続します。

### 2 病院の枠を超えた地域での研修

川崎医療生協は、市内に病院・診療所・老健施設などの運営をしております。幅広いフィールドで、地域包括ケアの本質を学びます。

### 3 総合医局・多職種での教育

川崎協同病院は、1フロアの医局に全医師が所属し、科の垣根なく指導を受けることができます。また、他職種が研修医教育に携わる文化が浸透しています。

Generalist Program

### 4 生活背景まで診る全人的医療

川崎協同病院は京浜工業地帯に隣接しています。この地域は社会的経済的な困難を抱える方が多く、そうした背景の中で診療を行います。こうした環境で医学知識にとどまらない全人的医療を学びます。

### 5 医療生協組合員と作り上げる研修

医療生活組合員のヘルスプロモーション活動に参加します。研修医は組合員活動に定期参加し、医療講演などを通じて継続的に地域住民と共に健康づくりを行います。

|ブログ|例

1年目	4 Apr	5 May	6 Jun	7 Jul	8 Aug	9 Sep	10 Oct	11 Nov	12 Dec	1 Jan	2 Feb	3 Mar
	内科				小児科				救急科*			
2年目	4 Apr	5 May	6 Jun	7 Jul	8 Aug	9 Sep	10 Oct	11 Nov	12 Dec	1 Jan	2 Feb	3 Mar
	総合診療II (有床病院)				総合診療I (無床診療所)				自由選択			
3年目	4 Apr	5 May	6 Jun	7 Jul	8 Aug	9 Sep	10 Oct	11 Nov	12 Dec	1 Jan	2 Feb	3 Mar
	総合診療II (有床病院)				自由選択				自由選択			

\*一般外科②整形外科③婦人科

兼任選択は④皮膚科⑤泌尿器科⑥耳鼻咽喉科

※研修協力施設の川崎市立川崎病院にて

### 研修医からのメッセージ

### 指導医と振り返りながら着実に 実力がつく、後期研修プログラム

ジェネラリスト養成プログラムかながわのプログラムにのって日々研修している、後期研修医の民部です。研修を行なながら家庭医の専門医をとることを考えています。後期研修1年目は総合内科を中心に循環器内科、消化器内科での研修を行い内科の力をつきました。2年目は内科の研修をしながら小児科、救命救急での研修を行う予定です。指導医と振り返りながらですので着実に力がついていると感じられる研修です。



後期研修医  
横浜市立大学 2012年卒  
**民部 貴士**

## 各科後期研修

### 内科

県内外の内科研修病院の連携施設として申請中

### 外科

県内大学病院の連携施設として申請中

### 小児科

県内外の小児科研修病院の連携施設として申請中

### その他

その他、以下の診療科において研修連携施設を予定しています。

- リハビリテーション科：県内大学病院の連携施設として申請中
- 病理科：大学病院の連携施設として申請中
- 整形外科：2018年以降、県内大学病院の連携施設として申請予定

※医師後期臨床研修については、2017年度より新制度への移行を予定しており、2016年2月現在、専門医機構により全国の各病院・各科研修プログラム認定作業を行っています。

スタッフとの距離が近く、  
コミュニケーションが  
取りやすい環境

私が病院見学に来たのは5年生の夏休みでした。非常に緊張したことを覚えていますが、そういった中で自分が感じたのは医師と他の職種の人達との距離感の近さでした。病院での業務は当然ですが医師だけでは到底成り立ちません。日々仕事をしていく中で気軽に仕事を依頼できること、分からぬことがあったときに素直に尋ねることができるることは非常に重要です。実際に研修して感じるのは面倒見の良さだと思います。毎日きちんと挨拶し、密にコミュニケーションをとることができるようになるのは、医師としてのみならず、社会人としての一步を踏み出すにあたって最低限必要な能力です。急性期の重症患者さんを診る機会はそう多くないかもしれません。しかし、研修医になつたばかりで右も左も分からぬ中で地道に力をつけていくには最適な環境だと思います。一度見学に来て実感してみて下さい。

初期研修医  
横浜市立大学 2015年卒  
鈴木 正史

01



02

後期研修医  
高知大学 2010年卒  
小倉 礼那



## 自分にあった病院選びを

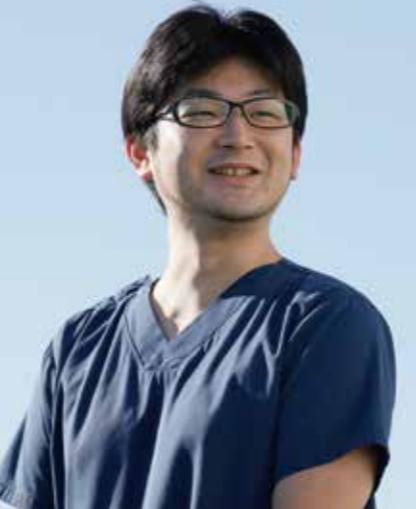
私は母校の大学病院で研修を始めました。しかし最初は本当にわからないことだらけで不安が募り、研修を中断することになりました。研修中断後に民医連で働いている先輩が声をかけてくれ、川崎協同病院を紹介してくれたため見学にきました。その時、研修医について回ったのですが、患者さんたちとの距離が近く、指導医との仲も良好で充実した研修をしている印象をうけました。中小規模の当院では研修医のことを指導医の先生たちがよく見ていてくれて負担がかかりすぎないように手助けしてくれます。初期研修2年間、苦労したこともありますが、多くの人に支えてもらい修了することができました。専攻科は決めていませんでしたが、手術が楽しかったこと、外科チームの居心地がよかつたことが決め手となり、当院での外科後期研修を始めました。技術の研鑽ももちろん、退院後の患者さんを外来でフォローもでき、主治医としてのやりがいを感じています。自分に合った環境は人それぞれです。自分がいきいきと研修できる病院を探すことをおすすめします。

## ONとOFFのメリハリを

初めまして！初期研修医の山岡です。皆さんは「研修医」にどんなイメージを持っていますか？「休みない」「遊べない」というイメージはないですか？確かに研修医とはいえた人の健康と命を預かる身なので責任や心労、時間の制約は学生時代とは比べるまでもありません。僕も不安を抱えつつ研修になった一人です。でもご安心を！いざ働き始めてみたら、ONの時は全力で頑張ってOFFの時はとことんOFF！正直これ程楽しく研修できるとは思いませんでした。金銭的に余裕も出てきて、念願のクロスバイクを購入し、土日に…いや平日でも17時過ぎに上がって（仕事が終わればですが…）サイクリングに出かけます。今は長期休暇を利用して沖縄自

転車1周旅行を計画中！相談次第で思ったより休日が取れることも意外でした。皆さん、ぜひ研修医の生の声を聞きに来てください！お待ちしています！

初期研修医  
日本大学 2015年卒  
山岡 達宏



03

※詳しくは神奈川民医連で発行している医学生向け情報誌 Coming Doctor に掲載されています！

## 研修医の一日 1年目のお仕事の一例

- 7:40 出勤は大体これくらい。出勤したら担当患者さんへ挨拶もかねて診察。  
その後、朝礼までは研修医の勉強会。うわっそんなに鑑別挙がらないよー(^o^)!!
- 8:45 医局で朝礼。その後は指導医に患者さんの状況を報告するミニカンファ。  
か、簡潔に説明しないと(^-^;)/
- 9:30 病棟に行って、指示出ししたり、検査に同行したり。  
研修医だから積極的に動き回ります!!(^o^) /
- 12:00 昼食は時間が空いたところで急いで！この間に食べれないこともしばしば…(涙)  
けど、先輩がカツ丼奢ってくれた(^q^)

- 13:30 病棟カンファレンス。看護師さんの視点ってすごいなあ。  
MSW頼りになる！(^o^);
- 15:00 研修医カンファレンス。先輩のプレゼンはさすがだよ。  
2年後あんな風になれてるのだろうか…(-;)
- 17:00 指導医と一緒に回診。  
こんな医師・患者関係を築けるようになりたいよ。(^-^)
- 18:00 カルテ記載。漏れてると怒られちゃうから、  
きっちりやりますよ(\*'w')

人間味あふれる  
本物のチーム医療に出会ってほしい

はじめまして。外科の仁木といいます。当院での初期研修の特徴を紹介したいと思います。当院での研修の目標のひとつは、「医師となるうえでの基礎作り」です。初期研修医は医師になるとともに、一人の社会人となります。「医学」「医療技術」の修得はもちろんですが、社会人としての礼節や、患者さんの思いに寄り添うこと、また、ともに働くスタッフへのリスペクトなど、「医学」以外の大切なことにも焦点を当てて指導することを大切にしています。また、チーム医療の大切さも2年間を通じて実感し、自然と身につくと思います。外科では週一回の病棟カンファレンスはすべての職種が集まります。医師・看護師・薬剤師・セラピスト・ソーシャルワーカー・栄養士が参加し、時には往診や訪問看護のスタッフも来ます。一人の患者さんに対して、全てのスタッフが「その人らしさ」を大切にした治療を模索し続けています。その中で、医師の担っている仕事が本当の意味で分かることがあります。是非一度、当院の楽しく温かいチーム医療を見に来てください！お待ちしています！

外科指導医  
弘前大学 2004年卒 仁木 徳雄

自ら考え、周囲と連携の取れるよう、  
医師としても人間としても成長して欲しい

皆さん、こんにちは。私は研修担当医をしている吉田と言います。私は初期研修医の教育において3つのことを大切にしています。1つは医師としての姿勢を身に着けること、もう1つは他職種との連携の大切さを学ぶこと、そして自分で考える力を身に着けることです。学生の皆さんには、初期研修であれもこれも出来るようにならなければ！と焦るような気持ちがあるかもしれません。でも長い医師人生のスタートに大切なのは、早く多くを学ぶことよりも、土台をしっかりと作ることです。当院では、各科のローテートに入る前に、総合内科で屋根瓦形式の研修を行い、考え方の基礎を作ることができます。また皆さん一番緊張する当直研修を開始するまで、朝勉強会で繰り返し救急での考え方を学びます。また個々の成長段階に応じて独り立ちを進めていくので怖い思いをすることはありません。皆さんに一番伝えたいことは、どこで学ぼうとも医師の最大の師は、患者さん一人ひとりということです。当院では各科の垣根がとても低く、どの科の医師もみな患者さんのことを真剣に考えて相談にのってくれます。皆さんと一緒に、患者さんと向き合いながら学んでいくことを楽しみにしています。ぜひ、一度当院を見に来てください！！

総合内科指導医  
大阪大学 2007年卒 吉田 絵理子

ママDrも安心！  
院内保育「たけのこ保育園」

川崎協同病院では「子育てしながらでも安心して働ける」ように職員専用の24時間の保育室があります。



- 入所資格 通常保育：満3歳まで  
24H保育：小学校3年まで
- 保育時間 平日・土曜日 8時～19時  
【閉所日】日曜・祭日、12/29～1/3  
【24H保育・夜間保育対応曜日】火曜・木曜日
- 保育料 通常保育：1ヶ月30,000円(給食・おやつ付き)  
一時保育：1日2,000円

## 待遇

- 雇用形態：常勤職員 社会保険完備、共済加入  
初期研修1年目￥310,000 / 2年目￥325,000
- 給与：医師手当 1年目￥35,000 / 2年目￥40,000  
手当：住宅手当￥16,000(非世帯主は半額)  
当直手当￥35,000(独り立ち後、1回当り)  
通勤費実費、家族手当有
- 賞与：年2回  
勤務：4週6休  
休暇：有給休暇 10日間(1年目※職員確認後)  
オールシーズン休暇 5日間  
寮：有(有償)  
その他：学会費補助有、当直明け休み保障有

## 病院見学について

- 土祝祭日を除き、随時受付けています。(必要に応じて宿泊先の手配もいたします)
- 申込：川崎協同病院 〒210-0833 川崎市川崎区桜本2-1-5  
医学生担当 TEL：044-270-5131(医局直通) E-Mail：igakusei@kawaikyo.or.jp

# 横浜市の郊外、地域に最も近い小規模病院で学ぶ総合診療「とつか」

～日々の経験から身体に染み込むように地域医療を修得する～

## 院長メッセージ

### 予防から外来・入院・在宅まで総合的な医療が身につきます

戸塚病院は、設立当初から「働く人々の生命と健康を守り、患者さまの立場に立った親切で良い医療を行う」という理念をもって、地域医療活動を続けてきました。法人内に7診療所、4訪問看護ステーション、2ヘルパーステーションを有し、医療・介護の連携を緊密にとっています。また、慢性疾患管理・がんの早期発見・健康管理(健康診断)・在宅医療に力を入れて取り組んで来ました。さらに、救急告示病院として24時間救急医療にも取り組んでいます。「地域から信頼され、予防から外来・入院・在宅まで患者本位の総合的な医療」を更に進めていきたいと思っています。

医学生の皆さん、都市部の小病院の外来と病棟の医療、そして関連の連携施設での内科、小児科、救急医療をフィールドとして研修を始めてみませんか。心よりお待ちしています。

## Message



院長  
プログラム責任者  
徳島大学 1983年卒  
端山 雅之

## プログラムの特徴

### 1 地域に最も近い小規模病院で 病棟・外来・住診で治療をシームレスに経験

戸塚病院は横浜市戸塚区に位置する95床の小規模病院です。患者さんは全て近隣住民の方なので、退院後のフォローも外来で継続します。更に病状が進行した際に、往診も経験するため、患者さんの治療をシームレスに経験することができます。プライマリ・ケアで重要なAccess(近接性)とContinuity(継続性)に最も適した病院です。

### 2 地域住民のヘルスプロモーション 活動を経験できる

当院は生活協同組合のため、地域で健康づくりに取り組む組合員(地域住民)が豊富にいます。研修医は地域のヘルスプロモーション活動に講師などで参加し、地域住民の健康づくりを経験します。

### 3 同法人に介護施設を有し、 患者さんを全人的に診る視点を養う

法人内に7診療所、4訪問看護ステーション、2ヘルパーステーションを有し、医療・介護の連携を緊密にとっています。プライマリ・ケアにおけるCoordination(協調性)を日常的に経験します。また、患者さんの療養生活に欠かせない介護との連携はComprehensive(包括性)を学ぶのに最適です。

### 4 病院総合医・家庭医の 両面のキャリアパスを描ける

総合診療医には病棟も経験する病院総合医と診療所をベースに活躍する家庭医という方向性があります。当院のプログラムでは小規模病院と診療所の両方を経験するため、研修医が志向するキャリアパスに沿った成長が見込めます。

## Characteristic

### 1 プログラム例



## お問い合わせ・お申し込みはこちら

### 戸塚病院

担当: 杉崎 憲 (事務長)

〒245-0062 横浜市戸塚区汲沢町 1025-6

TEL: 045-864-1241 FAX: 045-864-4155

E-mail: hp-ikvoku@mc-kanagawa.or.jp

URL: http://totsuka-hp.jp/



## 神奈川民医連のご紹介

What's "MINIREN"

神奈川民医連は1953年に4診療所によって結成されました。“無差別・平等の医療・福祉”“地域住民の医療・介護の要求に応える”ことを掲げ、地域住民の皆さんと共に地域に根ざした医療・介護を実践してきました。現在、4病院、26診療所を中心に老健施設、薬局、介護事業所などを有し(NETWORK MAP参照)、地域住民の健康を総合的に支えています。

### 民医連網領 私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。

戦後の荒廃のなか、無産者診療所の歴史を受けつぎ、医療従事者と労働者・農民・地域の人びとが、各地で「民主診療所」をつくりました。そして1953年、「働くひとびとの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を結成しました。私たちは、いのちの平等を掲げ、地域住民の切実な要求に応える医療を実践し、介護と福祉の事業へ活動を広げてきました。患者の立場に立った親切でよい医療をすすめ、生活と労働から疾病をとらい、いのちや健康にかかるその時代の社会問題にとりくんできました。また、共同組織と共に生活向上と社会保障の拡充、平和と民主主義の実現のために運動していました。私たちは、営利を目的せず、事業所の集団所有を確立し、民主的運営をめざして活動しています。日本国憲法は、國民主権と平和的生存権を謳い、基本的人権を人類の多年にわたる自由獲得の成果であり永久に侵すことのできない普遍的権利と定めています。私たちは、この憲法の理念を高く掲げ、これまでの歩みをさらに発展させ、すべての人が等しく尊重される社会をめざします。

私たちは、この目標を実現するために、多くの個人・団体と手を結び、国際交流をはかり、共同組織と力をあわせて活動します。

## 奨学金のご案内

神奈川民医連では、医師を目指す医学生さんを対象に奨学金制度を運用しています。充実した学生生活を送るために、経済援助を行うものです。経済的な援助に限らず、医療を社会的侧面や医師・患者関係の良好な構築などを様々な学習企画を通して学んでいます。年度途中からの申請も可能で、柔軟で利用しやすい奨学金制度となっています。

■ 貸与額: 月額8万円(返済免除規定あり)

■ 特別貸付金: 上限400万円(返済免除なし)

詳しくはこちらのパンフレットをご覧ください。  
(パンフレットの取り寄せは下記までご連絡ください。)



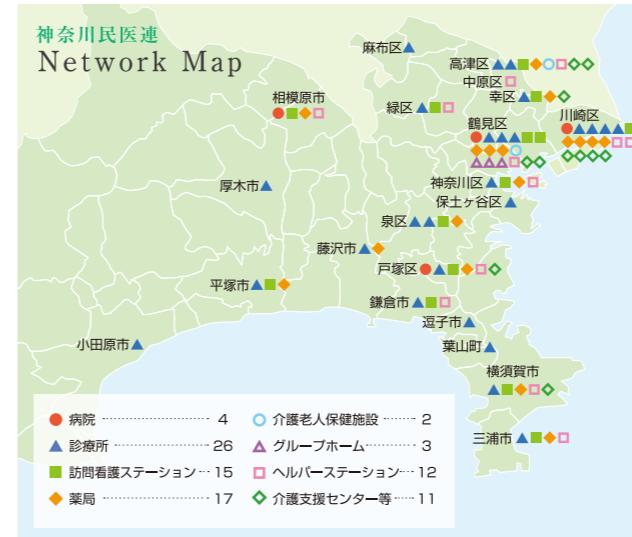
神奈川民医連 医学生委員長  
川崎協同病院 小児科  
北里大学 2000年卒

### 高村 彰夫



## ともに成長できる学びの場を

私達の奨学金制度は2つの特徴があります。1つは神奈川民医連に加盟する地域の病院で働き、患者さんに還元することで返済免除される点です。もう1つは奨学生としての学習活動を行う点です。将来医師になる上で大切な感性や知性を涵養し、共に成長する場を作っています。医療・社会情勢や人権問題、平和問題など、切り口は様々です。座学に加えてフィールドワークで実感を伴った学びも特徴です。私自身も学生時代に阪神淡路大震災後の医療支援、薬害エイズ問題、被爆者健康問題など、多くのことを他の医学生と学び交流したことから、臨床医としての財産になっています。多くの医学生に触れてもらい、共に成長したいです。



## お問い合わせ・お申し込み



### 神奈川県民主医療機関連合会

TEL: 045-320-6371

FAX: 045-320-6374

E-mail: igakusei@kanamin.or.jp

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 3-35-1 第二米林ビル5F

詳細は神奈川民医連ホームページへ

<http://kanamin.or.jp/>

神奈川民医連

検索